

年末年始 新型コロナウイルス感染症等相談先

## 新型コロナウイルス感染症に対する 令和2年 江東区の対策を振り返る



江東区長  
山崎 孝明

### 令和2年を振り返って

昨年12月、中国武漢市での新型コロナウイルス関連肺炎の発生報告以来、保育園・幼稚園、小中学校の休園・休業や国の緊急事態宣言の発令に伴う、営業活動の自粛・休業等により、区民の皆様への生活は激変し、多くの課題に直面した一年でありました。江東区では、前例なき未曾有の感染症に対し「区民の安全・安心を守る3つの柱」を軸とし総額650億円に上る、6回の補正予算を編成し、PCR検査・疫学調査体制の強化、こどもたちの学びの保障、区内事業者への経済対策、医療機関や高齢介護・障害福祉サービス事業所等への補助等、区議会と共に皆様を

「支える取り組み」を進めてまいりました。引き続き、現在のコロナ禍の喫緊の課題に、強い危機意識とスピード感を持って対応にあたっております。また、再び全国的な感染拡大が続く中、区民の命・生活を守るため、最前線で動いている医療・福祉施設等の従事者や、社会活動の維持のために見えない敵と懸命に闘う方々に、改めて心より敬意を表し、感謝を申し上げます。区民の皆様一人ひとりの意識と行動が、大切な命を守ることに繋がります。この難局を皆で乗り越えていきましょう。

### これまでの主な動き

1月31日	2月7日	3月2日	3月23日	4月7日	4月8日	4月10日	4月13日	4月17日	4月23日	4月28日	5月1日	5月25日	5月26日	6月1日	6月12日	6月22日	7月3日	8月3日	8月9日	8月18日	10月1日	11月1日	12月15日		
・江東区危機管理対策本部を設置	・帰国者・接触者相談センターを設置	・区立小中学校・幼稚園などを休業	・中小企業向け緊急融資制度の申請受付開始	・国、緊急事態宣言発令	・江東区新型コロナウイルス対策本部に格上げ	・都、緊急事態宣言 休業要請の対象施設などを発表	・保育園 原則休園	・患者の搬送用車両を導入	・PCRセンターを設置	・自宅療養サポートセットの支給開始	・特別定額給付金 事業開始	・国、緊急事態宣言解除	・都、ロードマップ ステップ1へ	・区立小中学校・幼稚園、保育園などを再開	・区立小中学校、オンライン学習支援サービスを導入	・高年齢介護及び障害福祉サービス事業者への緊急支援事業開始	・飲食店(テイクアウト・デリバリー) 補助制度申請受付開始	・区立小中学校、オンライン学習支援サービスを導入	・都、ロードマップ ステップ2へ	・都、ロードマップ ステップ3へ	・高年齢介護及び障害福祉サービス事業者への緊急支援事業開始	・高齢者インフルエンザ予防接種無料化	・生後6か月〜小学2年生インフルエンザ予防接種無料化	・利用者へのPCR検査費用補助制度開始	・高年齢介護及び障害福祉サービス事業者の職員・利用者へのPCR検査費用負担(3億8,726万円)

#### 対策本部設置

区長を本部長とする対策本部を速やかに立ち上げ、計31回開催。区への対応・体制等を協議。

#### オンライン学習支援

全小中学生が利用可能なオンライン学習アプリを導入し、タブレット端末・ルーターも貸与。

#### 避難所運営訓練

避難者の受け入れや自宅療養者等のゾーニング、簡易型避難用テントの設営などの訓練を実施。

#### 予防接種無料化

インフルエンザとの同時流行に備え、予防接種が強く推奨されている対象者の自己負担額を無料化。

今号の主な内容 [2面] 令和3年度 認可保育園・認定こども園(2号・3号認定)・小規模認可保育園等 二次募集2月16日(火)まで [4面] 多胎妊婦と2歳までの多胎児(双子や三つ子など)を養育する家庭へ 訪問支援事業スタート [9面] 江東区会計年度任用職員募集

## 新型コロナウイルス感染症対策 650億円超の補正予算を編成 区民の安全・安心を守る「3つの柱」

区民の安全・安心を守るため、今年度計6回総額653億3,053万円にも及び異例の補正予算を編成しました。これからは、強い危機意識とスピード感をもって取り組んでいきます。

### 区民生活 591億2,976万円

【主な事業】

- ◇給付金事業
  - ・特別定額給付金(535億1,136万円)
  - ・令和2年度子育て世帯への臨時特別給付金(5億2,572万円)
  - ・ひとり親世帯臨時特別給付金(4億2,681万円)
- ◇自宅療養サポートセットの支給(115万円)
- ◇プレミアム付商品券の発行(1億5,617万円)
- ◇避難所等における感染症対策の実施(5,556万円)

◀自宅療養する陽性患者向けに、保健所の栄養士がバランスを考えて調製した自宅療養期間分の食料品を支給

◀避難所等に簡易型避難用テントや携帯トイレ、フェイスシールド、非接触型体温計などを配備

- ◇高齢介護及び障害福祉サービス事業所の新規施設入所者等へのPCR検査費用を補助(5,400万円)
- ◇季節性インフルエンザの予防接種費用負担(3億8,726万円)
- ◇ICT教育の環境整備
  - ・タブレット端末・ルーター貸与(2億7,835万円)
  - ・オンライン学習支援サービス(2億2,440万円)
  - ・GIGAスクール構想への対応(17億9,435万円)
- ◇学校等の感染症対策強化(2億5,823万円)
- ◇オンライン面談のためのICT環境整備(スクールソーシャルワーカー・教育相談員による相談、新生児・妊産婦の相談・指導)(244万円)

### 区内事業者 58億7,530万円

【主な事業】

- ◇緊急融資の実施(27億1,106万円)
- ◇中小企業への家賃給付(15億1,265万円)
- ◇飲食店(テイクアウト・デリバリー)への補助(3,527万円)

◀テイクアウト・デリバリーで消費者還元策を実施する飲食店に対し、補助金を助成。店舗には左記ポスターを配付

- ◇高齢介護及び障害福祉サービス事業所への補助(2億2,556万円)
- ◇高齢介護サービス事業所に対する緊急支援物資の備蓄(7,585万円)
- ◇高齢介護及び障害福祉サービス事業所の職員・利用者へのPCR検査費用補助(4億7,100万円)
- ◇子育て施設等に対する感染症対策経費の補助など(2億7,840万円)
- ◇こども食堂に対する支援強化(1,350万円)
- ◇認可外保育施設等、私立学童クラブの運営補助(1億3,754万円)

### 医療機関・従事者 3億2,547万円

【主な事業】

- ◇PCRセンターの整備など体制強化(6,682万円)

◀江東区医師会と協力・連携してPCRセンターを開設し、週4回のPCR検査を実施。また、病院等に対する防護服などを備蓄

- ◇病院等に対する緊急支援物資の備蓄(3,592万円)
- ◇医療機関に緊急支援として補助金を支給(1億6,142万円)

## 日々続くコロナとの闘い ～保健所の取り組み～

江東区保健所では、区民の皆さんからの健康不安等の相談を受けるとともに、感染が疑われる方の検体採取、患者の健康観察と病院搬送、感染経路の調査など、感染拡大の防止に向けて取り組んでいます。

#### 検体採取

施設等で感染が疑われる方がいる場合に、医師が訪問して検体を採取し、研究機関に運搬してPCR検査を行います。

#### 電話相談・健康観察・疫学調査

患者発生時、保健師が速やかに電話連絡して、体調確認や感染経路等の聞き取り調査を行います。この過程で、体調や年齢、家庭の事情等を考慮しながら、患者の入院やホテル療養の方針を定めていきます。その後、必要に応じて専門医や職員が施設等を訪問し現地調査を行います。また、江東区新型コロナウイルス感染症相談センターでは、区民の皆さんからの新型コロナウイルス感染症に関する健康不安等の相談を受け付けています☎3647-5879(平日8:30~17:15)。

#### 患者の搬送

入院を要する患者の病院を調整し、医師または保健師が搬送用車両に同乗して患者を迎えに行き、病院まで搬送します。

掲載している情報は、12月9日時点のものとなります。